

増田かおる

議会レポート Vol.20



世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス。

今こそ政治の出番！のはずですが…日本の対策は効果的でなく遅いのはなぜでしょうか!?

1 新型コロナウイルス（以下コロナ）感染から 見えたものとは（4月半ば現在）

東京都でも、隣接するこの松戸市でも、連日感染者が増え続けています。コロナの感染症や、その影響で生活できず失うかもしれない命…政治にはそれらを救う大きな責任があります。具体的な支援策を示し、人々を安心させるべきです。しかし実際には、今の政治が役割を果たしていないと憤りを感じることばかりです。

また、コロナの問題は日本社会の危うさを明らかにしました。例えば、カロリーベースの食料自給率はたったの37%。もし輸入が止まつたら…？公立病院はこういう時こそ社会的責任を果たす役割があるのに、減らしても大丈夫なのか？…見直さなければならないものがたくさんあると思います。



要望書や質問書を提出

所属する会派として「要保護世帯等の給食費の手当て」「放課後児童クラブにおける感染症防止策の徹底」などを求める要望書や質問書を提出し、子どもたちの環境や配慮の必要な世帯への支援等を求めました。

松戸市では、新学期直前に集団感染が起き、多くの保護者から学校再開を心配する声が上りました。私は会派の議員らと完全休校を求める要望書を緊急に提出し、結果入学式は延期されました。やむを得なかつたと思っています。しかし、そもそものコロナ対策として、最初の学校休校の前に、とるべき対策が他にあったのではないかでしょうか。

今後議会などで、配慮の必要な世帯への支援や子どもへのフォローアップ等、休校中の対策を検証する質問をしていきます。

● ● 健康福祉政策課 704-0055 ● ●
● ● 教育委員会保健体育課 366-7459 ● ●

2 選考基準が無い!?～判断できなかった人事議案～



農業委員会の主な役割は、農業の保全のために、農地等の利用の最適化や農地の貸借、農地以外への転用の可否を判断する、などであり、委員の任期は3年です。



私は松戸市の農業を守ること、特に矢切の耕地の保全にこれまで取り組んできたことから、農業を未来につなげる若手農業者に入って欲しいと考えていました。

しかし、選考された農業委員を見ると、49歳以下の若手農業者は3人立候補していたにも関わらず、一人しか入りませんでした。その上、選考委員の選出方法が不明で、農業委員を選考する明確な基準が無いこと、選考委員から上がっててきた順位を最終的に整理した経緯が示されない…など、最後の最後まで全てが分からず仕舞い。さらに、落選した人にその理由は伝えないとのこと。これでは落選した人も納得できないでしょう。

以上のように、選考過程が不透明すぎて私には判断ができず、初めて退席しました。なお、選考された委員に問題があつたわけではありません。

行政は他にも様々な“選考”を行います。私たち議員はそれらの承認の可否を判断しますが、選考基準や選考過程が不明なものに判断のしようがありません。ましてや情報は市民のものです。誰が見ても分かるようにしておかなければなりません。今後も議会質問等で取り上げ、可視化を促したいと思います。

● ● 農政課 366-7328 ● ●



松戸市の
甲状腺エコー検査
今年も行われます

原発事故から9年を越えました。あの時どう過ごされていましたか？

2011年3月21日の朝、千葉県北西部に降った雨に濃いめの放射性物質が含まれていたため、松戸市は汚染のホットスポットになりました。放射線の影響には個体差があるため、絶対に影響が出ないと断言することはできません。

検査詳細は4月1日の広報まつどに掲載されました（バックナンバーはホームページでご確認を）。最低でも2年に1度の検査をお勧めします。

● ● 健康推進課 366-7485 ● ●

